

NY マーケットレポート (2017 年 3 月 10 日)

NY 市場では、米雇用統計を控えて結果に対する期待感が高まっていたことから、発表前にドル/円は 115.50 まで上昇し、1 月 19 日以来の高値を付ける動きとなった。

米雇用統計の結果は、非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、失業率も改善したが、前月比の賃金が伸び悩んだことや、ADP 雇用統計の結果を受けて予想以上に期待が高まっていたが、期待を上回るほどの内容ではなかったとの見方から、ドルは軟調な動きとなった。

また、原油価格が大きく下落したことや、米債券利回りの低下も加わり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。

ユーロは、ECB 当局者らが、債券購入プログラム終了前の利上げがあるかどうかを検討したとの関係者の話が伝わったことが好感され、大半の主要通貨に対して上昇した。特に、対ドルで 2 月 9 日以来、対円で 1 月 30 日以来の高値を付ける動きとなった。

2017年 3月10日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	115.41	115.46	114.90
EUR/JPY	122.26	122.34	121.51
GBP/JPY	140.32	140.46	139.66
AUD/JPY	86.80	86.86	86.20
EUR/USD	1.0611	1.0604	1.0572

LONDON	高値	安値
USD/JPY	115.49	115.32
EUR/JPY	122.56	122.24
GBP/JPY	140.54	140.07
AUD/JPY	86.89	86.73
EUR/USD	1.0620	1.0593

* 東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.71	115.50	114.65
EUR/JPY	122.53	122.83	122.04
GBP/JPY	139.60	140.47	139.57
AUD/JPY	86.54	87.06	86.47
NZD/JPY	79.44	80.06	79.43
EUR/USD	1.0683	1.0700	1.0600
AUD/USD	0.7545	0.7557	0.7517

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20902.98	+44.79
S&P500	2372.60	+7.73
NASDAQ	5861.73	+22.92
日経225 (CME)	19445	+155
トロント総合	15506.68	+9.84
ボルサ指数	47102.31	-161.61
ボベスバ指数	64675.46	+90.23

3/13 経済指標スケジュール

08:50 【日本】1月機械受注
08:50 【日本】2月国内企業物価指数
13:30 【日本】1月第三次産業活動指数
16:00 【トルコ】1月経常収支
17:30 【香港】4Q鉱工業生産
17:30 【香港】4Q生産者物価
23:00 【米国】2月労働市場情勢指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1201.40	-1.80
NY 原油	48.49	-0.79
CME コーン	364.25	-2.75
CBOT 大豆	1006.50	-4.50

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	1.355%	1.367%
3年債	1.663%	1.681%
5年債	2.098%	2.125%
7年債	2.392%	2.421%
10年債	2.575%	2.594%
30年債	3.161%	3.181%

ドイツ10年債	0.485%	0.426%
英国 10年債	1.231%	1.225%

3/13 主要会議・講演・その他予定

・ 欧州議会本会議 (～16日)

NY 市場レポート

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2 月米失業率 4.7% (予想 4.7%・前回 4.8%)

2 月米非農業部門雇用者数 23.5 万人 (予想 20.0 万人・前回 23.8 万人)

前回発表の 22.7 万人から 23.8 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2 月米平均時給（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.2%）
 前回発表の 0.1%から 0.2%に修正

2 月米平均時給（前年比） 2.8%（予想 2.8%・前回 2.6%）
 前回発表の 2.5%から 2.6%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

◀ 経済指標のポイント ▶

2 月の米雇用統計では、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数が+23.5 万人となり、市場予想を上回る結果となった。そして、景気回復の目安とされる+20 万人を 2 カ月連続で突破した。一方、失業率は、0.1 ポイント低下の 4.7%に改善、平均時給も前年比+2.8%と堅調さを維持した。また、民間部門で+22.7 万人、政府部門は+0.8 万人。民間では建設業や医療関係の増加幅が大きかった。また、製造業もプラスとなり、増加幅は前月より拡大した。

米ドル円, 5分足, #100



出所 : Net Dania

23 : 45

◀ 要人発言 ▶

コーン米 NEC (国家経済会議) 委員長

- ・「雇用統計は完璧な数字だ」
- ・「インフラ目的の長期債発行は可能」

0 : 40

ECB は、QE (量的緩和) 終了前に利上げが可能かどうか協議した～関係者

ユーロ米ドル, 1分足, #100



出所 : Net Dania

《欧州のポイント》

フランス大統領選挙世論調査（オピニオンウェイ）第 1 回投票では、ルペン国民戦線（FN）党首は 26%（3/6 時点 26%）、マクロン前経済相は 26%（25%）、フィヨン元首相は 20%（20%）。決選投票ではマクロン氏対ルペン氏なら 65%対 35%（6 日時点 60%対 40%）、フィヨン氏対ルペン氏なら 60%対 40%（56%対 44%）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 指数は、米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったことが好感され上昇した。一方、独 DAX 指数は、ユーロ高進行に伴う輸出企業の収益悪化が懸念され小幅安となった。

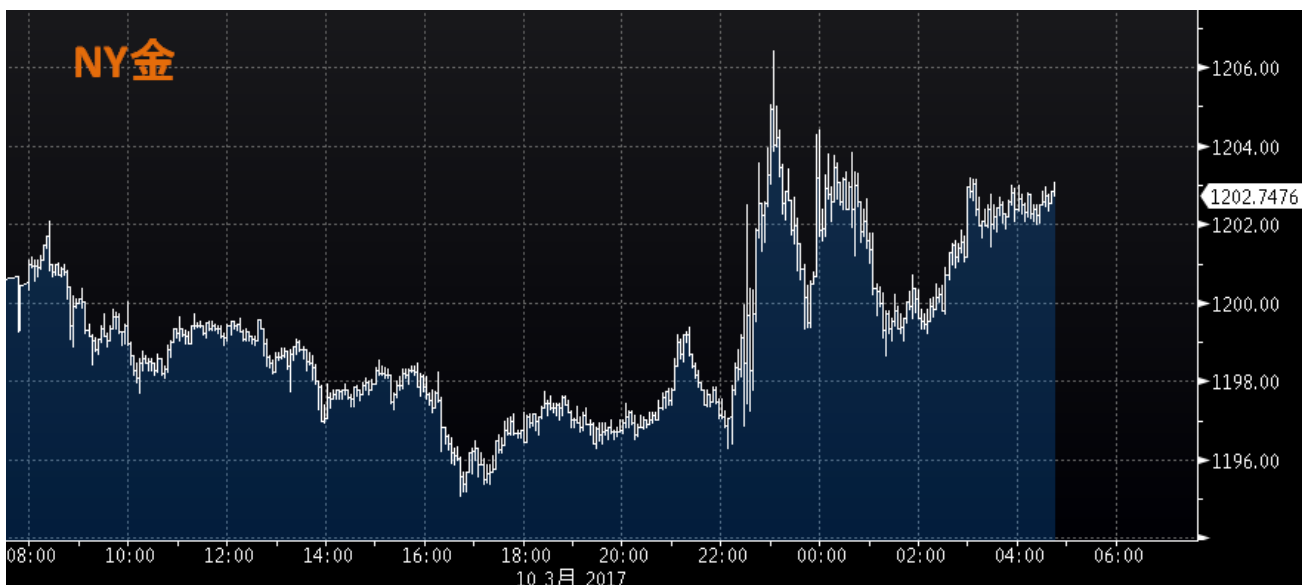


出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 1.80 ドル安の 1 オンス＝1201.40 ドルで取引を終了した。

NY 金は、来週の米追加利上げへの警戒感が強まり、一時は 1 オンス＝1200 ドルを割り込んだ。ただ、その後雇用統計後にドルが主要通貨に対して下落したことから、ドルの代替資産とされる金を買戻す動きも出た。終値ベースでは、1 月下旬以来約 1 ヶ月半ぶりの安値水準となった。

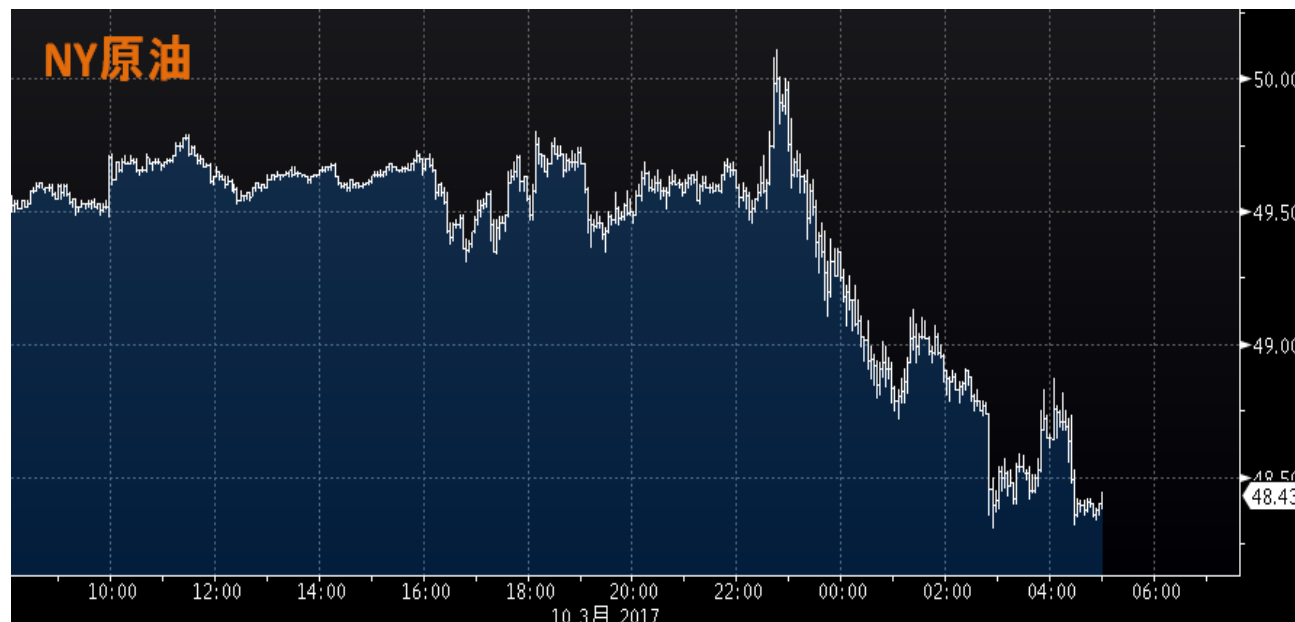


出所：Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、中心限月が前日比 0.79 ドル安の 1 バレル=48.49 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米国の原油在庫の積み上がりに対する懸念が引き続き材料視され、売りが優勢となった。また、米国内の石油掘削装置の稼働数が増加したことも圧迫要因となった。そして、5 営業日続落となり、昨年 11 月下旬以来約 3 ヶ月半ぶりの安値で引けた。



出所：Bloomberg

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、米雇用統計で、景気動向を敏感に映す非農業部門就業者数が市場予想を上回ったことから、買いが優勢となった。その後は一時マイナス圏まで下落する場面があったものの、底固い動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比で 82 ドル高まで上昇した。その後、マイナス圏まで下落したものの、プラス圏まで反発して引けた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったものの、前月比の賃金が伸び悩んだこともあり、ドルが売られた。一方、ユーロは QE(量的緩和) 終了前に利上げが可能かどうか協議したとの関係者の話が伝わると一転して買いが優勢となり、主要通貨に対して上昇した。ただ、原油や米債券利回りの低下もあり、ドル/円やユーロを除くクロス円は軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。